

暮らしの コーディネート ～第37回



今回は家事の効率化について考えます。

仕事復帰します！ 家事は夫婦それぞれが主体的に

家事に対する 意識やスキルを共有

共働き夫婦を対象に実施した調査会社のWEBアンケートによると、家事を分担する比率が「妻9割・夫1割」と答えた人は全体の25・7%で最も多く、続いて「妻8割・夫2割」が19・3%。妻の割合が高いという回答は全体の8割を超え、妻の家事負担がいまだに大きいことを物語る結果となっています。夫側からすると、家事分担の意識はありつつギャップも感じるようで、「自分ではやっていない」と思っていたり、「やっ

てもダメ出しされる」と諦めた
り…。

面倒くさいことや嫌なことを押し付けあったり、決められた場所や時間を一人で作業するような「家事の分担」にならないよう、環境や仕組みを整え、家事に対する意識やスキルを共有することが重要です。

家事がしやすい キッチンとは？

家事シェアの基本は「手伝う」ではなく自ら「取組む」気持ちが大変重要。嫌々やるのではなく、楽しみながら家族みんなで家事をす

ることが理想です。

掃除や洗濯は高性能家電に任せることができても、調理はスキルの問題もあります。苦手意識を持つ男性も少なくないので、家事シェアのきっかけとしてみんなで一緒に料理ができるようなキッチンはどうでしょうか？二人で並んで使えるワイドコンロや3方向どこからでも使いやすい形状のシンクなど、家族をサポートしてくれるキッチン設備は家事ラクにもつながります。